

つながり

五中校区通信 No.2
先生向け
小中一貫教育推進コーディネーター

8月22日に五中校区夏季合同研修を実施しました。テーマは進路についてです。前半は進路指導主事による講演、後半は小中合同のグループで「進路が多様化する時代の中、自分にとって適切な進路を選択できる子どもを育てるために各校種でできること」について討議を行いました。振り返りの一部をご紹介します。字だけですが、ぜひご一読ください。

☆五中進路指導主事による進路についての説明は有意義でしたか。

肯定率100%

<評価の理由>

○小学校の先生

- ・ これまでは6年の卒業式をゴールと捉えていましたが、高校進学、その先のキャリアについて見据えていくことが大切だと学びました。
- ・ 中学校での取り組みをもっと知って、子どもたちの日々の声かけや授業づくり、様々な取り組みにつなげていきたいと思いました。
- ・ 小学校で自分の将来の夢やもちあじに気づく機会を多くとり、自分の進路を自分で決めることができる子どもの育成をめざしていきたいと思いました。

○中学校の先生

- ・ 中退者の数が多いことを知り、高校を卒業させ、次の進路につなげることを目標に進路指導を行っていききたいと思いました。
- ・ わからないことだらけで不安だった進路について丁寧に教えていただき知ることができました。子どもたちが自分のこれからの生き方について考えられるように2学期から調べたり考えたりする時間を大切に関わっていききたいと思いました。

☆グループ討議およびその全体共有は有意義でしたか。

肯定率93% 否定率7%

<評価の理由>

○小学校の先生

- ・ それぞれがその子のために…と働きかけているが、小中がつながって引き継ぐことで私たちも進路指導を進めやすく、保護者や子どもたちも信頼して進路選択できるのではないかと思います。
- ・ まずは教職員同士が顔見知りで、話せる関係性を築く機会となるだけでも大きな価値があると考えた。
- ・ 進路指導の方法の共有に終始してしまい、小学校と中学校で共通の問いになりづらかった。

○中学校の先生

- ・ 小学校の先生が感じていることや疑問に思うことを知り、改めて小中連携が必要であると感じたから。
- ・ 小学校では、中学校に上がる前に基礎を固めて送り出そうとしていることや国語で説明文を扱う時に進路の時にどう役立つかを導入で伝えているなどの取組を知ることができました。一緒に考えて共有することは心強いなと思いました。

「お互いのことを知れてよかった」という感想をたくさんいただきました。まずは知ること・歩み寄ることが大切だと思います。一方で「もっと具体的なことを決めたり考えたりしたかった」というご意見もありました。最終目標はそこにあります。みなさまのご意見をもとに、担当と連携して校区でできる取組を考えていきたいと思っています。

小学校の先生からは、知らなかったことが知れてよかったという声がたくさんあがりました。中学校でも進路指導について不安な思いを抱えている先生は少なくありません。今回最新の情報を知れて本当に勉強になりました。



☆研修を通して新たにわかったことや2学期から新たに取組んでみようと思ったこと

○小学校の先生

- ・ 地域との連携や生活科での取り組み、ゲストティーチャーを招いての学びなどから、自分の興味、関心を見つけ出し、それを教師が引き出していけるようになりたいと思いました。また、中学校に向けての学びに向かう力、自分のもちあじに気づく力を子どもたちにつけていきたいと思えます。
- ・ 総合学習を系統立てて取り組めるように計画をしていきたいと思えました。授業の中で自分の意見を表現できる機会を多く作ってほしいと思えました。
- ・ 子どもたちの可能性を少しでも広げられるよう日々の取り組みを考えていきたいと思えました。
- ・ 学校全体でキャリア教育について考える場を設けた方がよいのではないかと思った。
- ・ まずは自己肯定感をあげられるような取り組みをしたいと思えます。
- ・ 進路の選択肢が増えていることを子どもたちにも伝えたいと思えます。
- ・ 自ら選択させる取り組みをすることができたらと思えます。

○中学校の先生

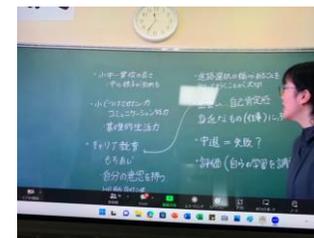
- ・ 学力「だけ」ではいけないが、まずは基礎学力をつけることが我々の大きな仕事の一つだと思えました。それと並行してもちあじやつながる力について指導支援していきたいです。
- ・ 支援に在籍することで進路に不利になるといった声が保護者から上がっていることを知ったので、そのあたりの誤解を解くような取り組みができたらと思えます。
- ・ 自分で考えずに何でも先生に聞いてしまう子が多いなと感じたので、自分で考えられるような声かけや関わりをしたいと思えました。

☆小中一貫教育に関して何か思っていることや感じていること、要望など

- ・ 小学校でどの内容をどの程度学習しているか、だいたいよいので共有しやすいと授業するうえでもありがたいです。小学校の教科書を中学校においてもらえるだけでもありがたいです。デジタル教科書は権限の関係が見られないので・・・
- ・ 今回初めて小中一貫校を経験された先生から、メリットをたくさん聞くことができました。いままでデメリットばかり耳にしていたので、取り組んでみないとわからないものだなあと感じました。小学校のころ担任をされていた先生と中学校の先生とでコラボして、小学生の発表に対して中学生（先輩）からより学習を深めるために意見してもらえたら、面白い交流になるかもしれない、というアイデアが出ました。
- ・ 中学校のキャリア教育の見学みたいなことができたらいいなと思えました。

どれも小中一貫教育の推進において大事なことだと思います。校区運営委員会や担当で協議していきましょう。(デジタルドリルは市教委への要望となりますが)

今回の研修だけでは、全体として「これをやっていきましょう」という結論になりませんが、それぞれの先生が中学校卒業後の進路につなげるために何ができるかを考え、実践することが大切です。



次回の通信では、今回の研修を受けて2学期に実際に実践したことなどを掲載できたらと思えます。2学期はいじめ防止につながる小中一貫の取組やオータムつながりフェスティバルなどのイベントがあります。今後も交流を深めていきましょう。